

## 2003 年度 委員会活動成果報告

(2004 年 3 月 31 日作成)

委員会名	市街地環境基準小委員会	主 査 名：赤崎 弘平
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築法制研究委員会	委員長名：稲垣 道子
設 置 期 間	2001 年 4 月～2005 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	建築基準法集団規定について、建築及び都市計画規制誘導手法や制度・基準を歴史的・現代的視点から検証し、改正法適用によって生み出される市街地環境像に対し問題と課題を提示する。/ 初年度：「建築法制史から近年の建築基準法改正をみる」、「建築法制と市街地環境を考える」を課題として研究会を開催。/ 2 年度：「法改正がもたらす市街地環境像を検証する」、「都市計画規制としての問題と課題を考える」を課題として研究会を開催。/ 3 年度：「転換期における市街地環境像」を課題として研究会を開催。/ 4 年度：以上の成果を公開研究会開催によってより議論を深め、『建築基準法・集団規定による市街地環境形成 - その問題と課題 (仮称)』としてまとめる。	
委員構成 (委員名 (所属))	赤崎弘平 (大阪市立大学) 東正則 (工学院大学) 荒木春雄 (都市法研究舎) 有田智一 (筑波大学) 内海麻利 (駒澤大学) 岡辺重雄 (想像都市研究所) 加藤健三 (渋谷区役所) 加藤仁美 (東海大学) 櫻田攻 (京都確認検査機構) 片倉健雄、上山肇 (江戸川区役所) 桑田仁 (芝浦工業大学) 坂本圭司 (JR 東日本) 鈴木伸治 (関東学院大学) 土岐悦康 (日本 E.R.I.) 野村徹也 (集合住宅デザインハウス) 山田浩輝 (山田浩輝建築研究所)	
設置 WG (WG 名：目的)	なし	
2003 年度予算	100,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	小委員会を 2 ヶ月に 1 回程度開催 (2003 年度は、2 月、4 月、6 月、10 月、2004 年 1 月に開催) し、委員の持ち回りによって研究成果の発表会を行った。加えて、2004 年度に予定しているシンポジウム開催 (2 回) および 2005 年大会時における研究懇談会開催に向けて、打合せをおこなっている。
得られた成果	<p>(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無)</p> <p>(1) 各委員による発表を通じた意見交換および情報共有</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内海委員による、委任条例と自主条例の成果発表</li> <li>・上山委員による、地区計画策定実務からみた市街地環境基準の策定</li> <li>・荒木委員による、公害訴訟における受忍限度について</li> <li>・坂本委員による、シカゴ・NY の高さ規制とその変遷</li> </ul> <p>これらを通じて、市街地環境基準に関する幅広い視野および知見を共有した。</p> <p>(2) 国立景観問題について、ゲストスピーカーを招いた議論 国立景観問題に対する当事者である日置弁護士、東京大学中島助手を招き、国立景観問題に対するレクチャーをお願いするとともに、意見交換を行い、景観問題に対する知見を深めた</p> <p>(3) 次年度以降の活動に対する議論 2004 年度にこれまでの研究成果を踏まえてシンポジウム (2 回程度) を開催すること、及び 2005 年度以降の活動について意見交換した。</p> <p>委員会 HP アドレス：</p>
目標の達成度	<p>(当初の活動計画と得られた成果との関係)</p> <p>当初の計画をほぼ達成している。ただし重要なトピックである「景観法」についての議論については、現在法案が審議中ということもあり、来年度以降の検討となる。</p>
その他評価すべき事項	